

報道関係者各位

全国社会保険労務士会連合会が舛添厚労相に 「街角の年金相談センター」構想実現を要請！

10 日午前、全国社会保険労務士会連合会（会長：大槻哲也）は、参議院議員会館別館（東京都千代田区）で舛添厚生労働大臣と面談し、社会保険労務士による「街角の年金相談センター」構想実現の要請を行った。



▲舛添厚労相に要請書を手渡す大槻社労士会連合会長（中央左）
同連合会は、平成 22 年 1 月に設立される日本年金機構から、全国 51 か所の年金相談センターの運營業務を受託する方向で準備を進めている。

一方で、年金に対する国民の安心・信頼を確保するためには、国民（相談者）の身近に「対面相談」の窓口を数多く設置して、きめ細かな相談・アドバイスの体制を構築することが必要であるとして、同センターを受託した場合、平成 22 年度以降、現在 27 都道府県に 51 か所設置されている年金相談センターを配置換えして、すべての都道府県に開設、併せて都道府県内各地に「街角の年金相談センター」を配置して、社会保険労務士による年金の「対面相談」が行える体制の実現を目指すこととしている。

面談後、大槻会長は次のコメントを発した。

【大槻会長のコメント】

年金記録問題発生から、私達社会保険労務士は国民の皆様の権利擁護のために様々な活動を展開してきました。年金相談の中で、国民の皆様のニーズは「自分の年金について、話をじっくり聞いて、複雑な年金制度をわかりやすく説明してもらうことによって、理解し安心できる相談対応」であると確信するにいたりました。

日本年金機構の年金相談センターの運營業務の受託と、私達の「街角の年金相談センター」構想が実現されれば、身近に「対面相談」の窓口が整備され、こうした国民の皆様のニーズを満たし、年金制度に対する不安や不信が解消されると期待しています。

本件と「街角の年金相談センター」に関するお問合せ先
全国社会保険労務士会連合会（広報担当室 福岡）
ホームページ：www.shakaihokenroumushi.jp
e-mail:fukuokayu@shakaihokenroumushi.jp
TEL 03-6225-4864